

Osmo Release Notes

2016 年 3 月 24 日

1. ファームウェアバージョン：v1.6.2.10
2. DJI GO アプリ iOS バージョン：v2.7.1
3. DJI GO アプリ Android バージョン：v2.7.1

主なアップデート

1. ファームウェア v1.5.2.0 を使用する際の音声録音の音量が低い問題を修正しました。
2. タイムラプス写真の撮影時に、時々デジタル安定化機能が適用できない問題を修正しました。

注

アップデート後、ジンバルの自動キャリブレーションを実施します。ファームウェアのアップデートができない場合、Osmo と DJI GO を再起動してやり直してください。

Osmo Release Notes

2016年3月17日

1. ファームウェアバージョン：v1.5.2.0
2. DJI GO アプリ iOS バージョン：v2.7.1
3. DJI GO アプリ Android バージョン：v2.7.0

主なアップデート

1. 消費電力を削減し、Osmo のバッテリー使用時間が 90 分まで延び、総記録時間が 70 分（Wi-Fi がオフの場合は 80 分）になりました。
2. 動画を撮影する場合、ファンのスイッチは自動的に切れます。動画撮影中、ファンをオフにしておくには、Audio Control（音声コントロール）メニューで Mute Fan（ファンをミュートにする）をタップします。起動すると、ファンは危機的な過熱を防ぐ場合のみ作動します。
3. ライブ・ストリーミングを向上させるために、ビデオダウンリンクを最適化しました。
4. 720p、1080p と 2.7K で動画を録画する際のデジタルズーム制御機能を追加しました。2 本の指を画面に置きピンチしてズームアウトし、指を開いてズームインする、またはデジタルズーム制御のスイッチをオンにして微調整します。
5. 操作ボタンの操作方向を Free（自由）に設定することで、Osmo のチルト軸とパン軸を同時に制御する機能を追加しました。
6. 音声と動画が一部のデバイスで同期していない問題を修正しました。
7. ポートレート写真を最適化できるポートレートオプションを追加しました。
8. D-Log と D-Cinelike の色を最適化しました。
9. 動画と静止画のモバイルデバイスへのダウンロード速度が 3 倍速くなりました。
10. シャッターボタンを長押しして連続写真を撮影する機能を追加しました。
11. Osmo の Wi-Fi をオン/オフにするキーの組合せを追加しました。トリガーを長押ししてから、電源スイッチを押下げ、電源スイッチとトリガーの両方を放します。システムのステータス LED が 2 回点滅すると、Wi-Fi はオフになっています。繰り返して Wi-Fi をオンにします。Wi-Fi を使わずに、タイムラプス写真を取る方が Osmo は長時間作動します。
12. すでに別のモバイルデバイスに接続されている Osmo を接続しようとする、DJI GO アプリに注意が表示されます。

Osmo Release Notes

13. タイムラプスを撮影する場合、DJI GO は、ライブプレビューではなく現在の写真を表示するようになりました。
14. 雑音の多い環境で録音する場合の音声の歪みを防ぐために、音声コントロール機能が最適化されました。
15. クラス 10 または UHS-1 以下の Micro SD カードを使用する際に、音声データが損失する問題を修正しました。
16. パノラマ撮影時に、同じショットを二重撮影するのを修正しました。
17. ジンバルのドリフトが低減しました。
18. 操作ボタンの操作を最適化しました。
19. 電源が切れた後、水平キャリブレーションデータが自動的に保存されます。

注

1. ファームウェアのアップデートができない場合、Osmo と DJI GO アプリを再起動してやり直してください。アップデート後、ジンバルの自動キャリブレーションを実施します。
2. Android 上の DJI GO アプリが、アップデート後、ファームウェアバージョンを表示できない場合、再起動して、お使いのモバイルデバイスをインターネットに接続してから Osmo.を再度接続してください。

Osmo Release Notes

2015 年 12 月 25 日

1. ファームウェアバージョン：v1.4.1.80
2. DJI GO アプリ iOS バージョン：v2.4.3
3. DJI GO アプリ Android バージョン：v2.4.3

主なアップデート

1. 4096 x 2160 で録画する際に、突然カメラが再起動する問題を修正しました。
2. ロール軸の水平部の精度を向上させました。
3. タイムラプスモードでのジンバルのドリフトを低減し、より安定した映像撮影を可能にしました。
4. ハンドルの動作制御を最適化しました。
5. セルフィーモードの制御を最適化しました。
6. 複数のモバイルデバイスを同時に Osmo に接続する際の表示の問題を修正しました。
7. パノラマモードでは、ジンバルは、自動的にロール軸を水平に調整します。
8. 4K ビデオの再生能力を最適化しました。
9. ファームウェアのアップデート処理に音声指示を追加しました。Osmo では、アップデートが完了すると、「ビービビ……」という音が鳴ります。アップデートに失敗すると、「ビビビ……」と短く連続した音が鳴ります。

DJI GO アプリの最新バージョン v2.4.3 がサポートする機能

1. 音量の表示とゲインの調整機能を追加しました。
2. DJI GO アプリから電源を切りスリープモードに入るオプションを追加しました。
3. DJI GO アプリにセルフィーモードの設定を追加しました。
4. タッチスクリーンのジンバルリモートコントロールを最適化しました。
5. 新たに 180 度パノラマモードを追加しました。
6. お好みのホワイトバランスに調整できるオプションを追加しました。
7. シャープネス、再度、コントラストを調整できるスタイル設定を追加しました。
8. 動画撮影中に露光パラメーターを調整できるようになりました。
9. カメラ設定のショートカットを追加しました。

Osmo Release Notes

注

1. Osmo ハンドルでこの最新版ファームウェアを使用する前に、Inspire 1 Zenmuse X3 のジンバルおよびカメラを Inspire 1 の機体で v1.5.0.30 にアップデートしてください。
2. Inspire 1 Zenmuse X3 ジンバルおよびカメラが保護モードになった場合、Osmo をパワーサイクルして再起動する必要があります。
3. Inspire 1 Zenmuse X3 のジンバルおよびカメラは、スリープモードに対応していません。
4. ジンバルのドリフトは、自動キャリブレーション機能の使用で最小限に抑えられます。
5. ファームウェアのアップデートができなかった場合、Osmo と DJI GO アプリを再起動したうえでアップデートし直してください。
6. ファームウェアをアップデートした後、ジンバルの自動キャリブレーションを実施することをお勧めします。

Osmo Release Notes

2015 年 11 月 11 日

ファームウェアバージョンが V1.2.1.60 にアップデートされました。

主なアップデート

11 月 6 日リリースされた Osmo のファームウェア v1.1.1.50 は、システムが不安定である、撮影挙動が異常であるという問題が生じることがありました。弊社はこれらの問題解決のために 24 時間取り組んでいます。

あわせて、ユーザーが Osmo を工場出荷時のデフォルトのファームウェアに復元できるファームウェア v1.2.1.60 をリリースしています。このファームウェアバージョン「v1.0.1.19+」は、復元完了後、DJI GO アプリに表示されます。

Osmo Release Notes

2015 年 11 月 6 日

ファームウェアバージョンが V1.1.1.50 にアップデートされました。

主なアップデート

1. キーの組合せを使用して Wi-Fi 設定を復元する場合、Wi-Fi 周波数も 4 GHz に復元されます。
2. 4096 x 2160 の解像度で動画を撮影中に、突然カメラが再起動を始めるという問題を修正しました。
3. 移動撮影中に、タイムラプスモードでパン軸がドリフトする問題を修正しました。